

環境省「国連ESDの10年促進事業」では、平成18年度から、環境保全を中心とした課題を入り口とした、持続可能な地域づくりに向けた地域課題の解決をテーマとする教育事業を各地域2カ年でモデル的に実践してきました(全国14地域)。近畿でのモデル地域は、大阪府豊中市、兵庫県西宮市(ともに平成18・19年度)、大阪市西淀川地域(平成19・20年度)が継続的な取り組みを展開しています。昨年度から実践を開始した、大阪市西淀川地域の取り組みを紹介します。



西淀川地域

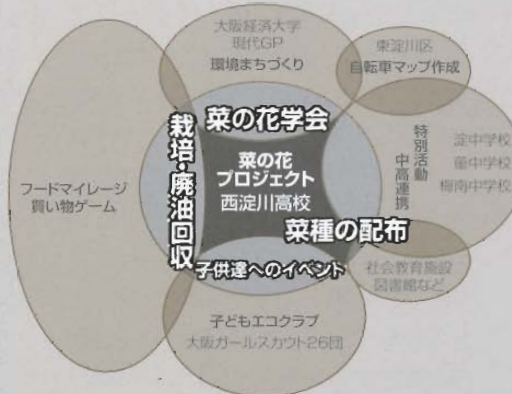
「持続可能な交通まちづくり市民会議」

～楽しく「つながる」ESD ―菜の花プロジェクトを例に～

西淀川地域では、「持続可能な交通まちづくり市民会議」(ESD推進会議、以下「市民会議」)を設置し、「地域環境再生(菜の花プロジェクト)」「自転車まちづくり(自転車マップづくり)」「地域資源発掘(地域学習教材づくり)」「食と交通(フードマイレージゲームの開発・普及)」の4つのプロジェクトを中心に取り組みを展開してきました。取り組みを進める上で大事にされていることは「楽しく「つながる」」こと。

今年度の事業の中で重点的に取り組んできた「地域環境再生」プロジェクトでは、持続可能な交通まちづくりを担う人材育成のきっかけづくりとして大阪府立西淀川高校を中心に、回収した廃油からBDFを精製する菜の花プロジェクトを進め、資源の循環を体感し地域環境再生のためにできることを考え、実践する場づくりを行いました。具体的には、廃油回収場面づくりや、西淀川高校での菜の花の栽培、菜種の配布などを実践しまし

たが、実施にあたっては、市民会議に参画するさまざまな主体などと一緒に、このプロジェクトをとおして各主体がつながることを大切にしました。



ガールスカウトとは、「みどりの募金」活動に併せて菜種の配布や廃油回収を実施してつながりを深め、自転車まちづくりで関わりのあった大阪経済大学とのつながりで高校生が菜の花学会で発表することができるなど、菜の花プロジェクトというひとつの取り組みを通して地域で環境活動をするさまざまな主体がつながり、活動が広がっているのです。また、このプロジェクトには大阪市立中学の特別活動の研究会も関わることになり、中学

生に活動紹介をしたりBDF精製や菜の花栽培の体験機会を提供することができ、中・高連携を深めることもできました。

楽しく進めるESDによってつながりを取り戻しつつある西淀川地域では、これからも継続した取り組みが進められます。



【西淀川ESDニュース】VOL.1より



西淀川高校の取り組み(上下とも)



【西淀川ESDおつかれさま 今年もよろしく会】で交流